

## 加西市とプルマン市の姉妹都市交流の再開について ～兵庫県ワシントン州事務所～

加西市とワシントン州プルマン市は、平成元年11月に姉妹都市提携を締結して以来、中高生親善訪問団の相互派遣など活発な交流を行っていましたが近年はその交流を中断していました。

しかし、加西市の西村市長は、是非、交流を再開したいと考えていたことから、兵庫県ワシントン事務所がプルマン市側との調整を支援した結果、今年2月5日から7日まで、西村市長をはじめとする4名の訪問団（民輪特別参与、松本教育長ほか）がプルマン市のジョンソン市長を訪問することができました。そして、交流再開に向けた協議や交流再開協定書の締結、チャンドラー前市長ほか関係者による夕食会、学校・企業訪問などを行った結果、5年間途絶えていた両市の交流が再開することになりました。



今回の訪問は、寒波の影響で、マイナス20度近くまで気温が下がり、雪も降る厳しい天候でしたが、ジョンソン市長が訪問団を空港まで出迎えに来られるなど、プルマン市関係者から心温まるおもてなしを受けました。特に、西村市長が感動したことは、右の写真のとおり、姉妹都市交流協定書やこれまで加西市から送られた記念品が全て、議場のショーケースに大切に保存をされていたことでした。



記念品が展示されたショーケース前で

この交流再開により、来年5月には、加西市播磨国風土記1300年祭の記念イベントに併せて、ジョンソン市長が加西市を訪問することになりました。また、中高生の交流再開については、今後、両市で課題を整理して調整が進められることになっていますが、当事務所も軌道に乗るまで支援を行うこととしています。



交流再開協定書締結

今回のプルマン市訪問に先立ち、訪問団は在シアトル日本国総領事館の大村総領事を表敬訪問し、プルマン市訪問にあたっては、姉妹都市担当の上西領事に同行をいただきました。

加西市とプルマン市の交流再開は、兵庫県とワシントン州、そして、日本と米国にとっても大切なことであると言えます。

